科目区分	専門分野			科目番号	1409	曜日時間	
授業科目	成人看護学実習						
単位数	2 単位	時間	90 時間	開講時期	3年次	授業形態	臨地実習
担当教員	長谷川 ゆかり						
授業目的	生命に直結する物質のやり取りが障害された患者を理解し、危機的状況に応じた生活を整えていく援助を学ぶ。						
中核	予測と回避						
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の危機的状態にある患者の特徴が理解できる。 2. 生命の危機的状態にある患者の思いが理解できる。 3. 生命の危機的状況に陥った患者の状態が理解できる。 4. 急激な身体機能の変化に応じた援助ができる。 5. 苦痛のコントロールができる。 6. 生命の危機的状態にある患者の看護の役割が理解できる。 7. 実習を振り返り生命の危機的状態にある患者にとっての看護の意義を明らかにする。 						
授業の内容と方法	日	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
		<p>物質のやり取りが生命に直結することを理解する</p> <p>生命の危機的状態にある対象を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の身体的側面を理解する ・患者の精神的側面を理解する ・患者の社会的側面を理解する <p>患者の状況に合わせてコミュニケーションをとる</p> <p>患者・家族の抱える苦痛について理解する</p> <p>生命の安全と症状に伴う苦痛の緩和のための援助を実施する</p> <p>合併症の要因を除去し回復を促進させるための援助を 実践し評価する</p> <p>回復段階に応じた日常生活援助を実践し評価する</p> <p>患者の危機的状況から回復に向かう患者の精神的な苦痛の緩和に向けた援助方法がわかる</p> <p>医療チームの連携と看護師の役割・意義を理解する</p> <p>実習メンバーの受け持ち患者の看護内容について情報 交換し理解を深める</p>	臨地実習	90	各担当教員	実践活動の病院8時間以外の実習6時間	
終了後課題	学びのレポート 1000文字程度						
評価計画方法	成人看護学実習評価表に基づく						
テキスト参考図書	既習したすべてのテキスト						
実務歴有	看護師：病院勤務 20年 看護教員：学校勤務 2年						
講義への反映	病院勤務の経験を活かし、状況に即した実習を展開する						
備考	学内実習（実践活動の場以外の実習）の詳細に関しては実習要項に記載あり						